

令和5年度 第4回授業研究について

★今年度の本校の研究テーマ

「授業力向上とその実践 ～年間を通じた継続的なOJTの実施～」

令和6年2月13日（火）5校時に、1学年の道徳の授業研究及び講師をお招きして協議会を実施しましたので、ご紹介します。

1 授業研究のテーマ

○学級活動（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア. 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

○道徳 B 主として人との関わりに関すること（相互理解・寛容）

「上手な断り方を身に付けよう」

～よりよい人間関係を気づくためのアサーショントレーニング～

2 講師

元 東京女子体育大学教授 小林 福太郎 先生

3 実施方法

- ・1学年の担任が6クラス同時に授業を実施（ロールプレイ等を含む）
- ・OJT 授業観察グループの観察者（3～4名）は指定された授業を観察
- ・観察者はテーマに留意して観察し、協議会で利用するため、赤い付箋に「よかったところ」、黄色い付箋に「改善点」を記入
- ・分科会で付箋を分類しながら意見交換
- ・全体会で、6グループの代表者が電子黒板を使用しながら発表し、講師の小林福太郎先生より指導・講評およびご講演



4 講師講評及び今後の指導の方向性



- ・生徒が皆、楽しみながら前向きに授業に参加していた。
- ・道徳は価値観の押しつけにならないように配慮する。
- ・日頃から道徳教育を通して「心のトレーニング」となるよう意識することで、生徒が変容する。
- ・「考え、議論する道徳」を実現するためには、魅力ある教材の活用や生徒と教員が共に考え、自分の問題として考えさせていくことが重要。
- ・人間として「よりよく生きる」ための原動力を育成するために今後も指導法について研修を重ねていく。